

ミヤマビャクシン

学名 *Juniperus sargentii* (Henry) Takeda ex Koidzumi

目名

目名学名

科名 ヒノキ科

科名学名 Cupressaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が限られており、個体数も少ない。県内では「豊後水道域」に生育する海岸型のものと、「九重火山群」に生育する山地型のものがあるが、どちらの生育地のものも確認できる所は極めてまれである。過去、採取された経緯もあり、生育地の減少や絶滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	海岸の崖地や岩上に生育するものと、火山山頂帯の草原や林縁に生育するものがある。。
現状	「豊後水道域」の生育地も厳しい自然環境に耐えて生育している。自生地から移植したとされるものが半島の各所に生育している。「九重火山群」のものは標高1,300m以上の尾根筋にわずかに生育している。
備考	県指定天然記念物「横島のビャクシン」(米水津村)。「九重火山群」のものは、大正末期のころ当該地域から多量に庭木、盆栽用として掘り取られた記録がある。